

持続可能な社会

2050年へ向け、私たちの挑戦は

加速していきます。



環境宣言
『GREEN CHALLENGE 2050』
特設サイト



環境宣言

『GREEN CHALLENGE 2050』とは？

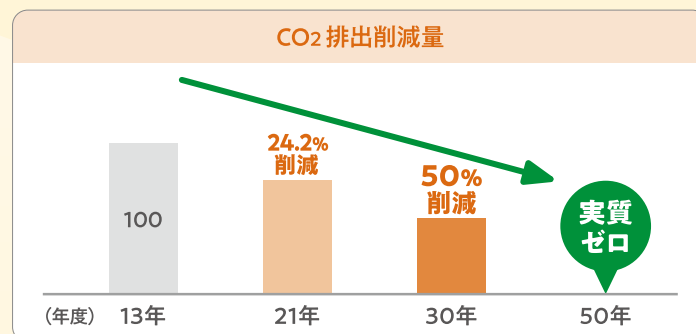
セブン & アイグループは、これまでさまざまな社会環境の変化に、さまざまな環境問題や外部不経済などの社会課題が顕在化し、サプライチェーン全体でさらなる環境負荷低減を推進し、豊かな

価値ある商品やサービスの提供を通じて対応し、豊かで便利な暮らしの実現に努めてまいりました。その一方で、社会の持続的発展にはその解決が急務となっています。このような現状認識に基づき、全国の店舗ネットワークと地球環境を未来世代につないでいくため、今後もグループ全従業員が一丸となって取り組んでいきます。

取り組みテーマ ①

CO₂ 排出量削減

グループの店舗運営に伴う排出量**実質ゼロ**（2013年度比）。また、スコープ3を含めたサプライチェーン全体で削減を目指す。



3つの柱で取り組むCO₂ 排出量削減

省エネ：従業員による節電や省エネ設備の導入により、電気使用量の削減を推進。

創エネ：グループ8,000店舗以上に太陽光パネルを設置。2030年までに11,000店舗へ設置予定。

再エネ調達：新たに北陸電力グループとのオフサイトPPAの取り組みを開始。

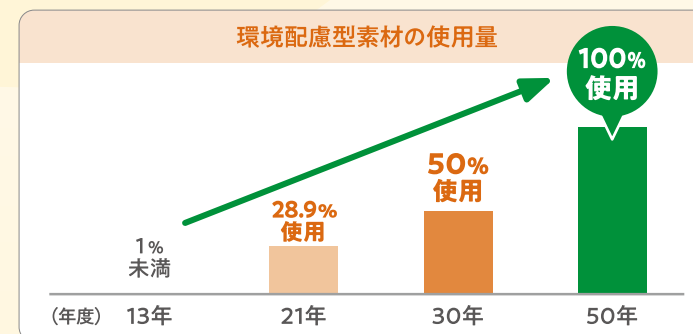
グループのCO₂排出量の約9割は電気使用に由来しているため、省エネ・創エネ・再エネ調達の3つの柱でCO₂排出量削減を進めています。



取り組みテーマ ②

プラスチック対策

オリジナル商品（セブンプレミアムを含む）で使用する容器は、環境配慮型素材（バイオマス・生分解性・リサイクル素材・紙など）100%使用。2030年までにプラスチック製レジ袋の**使用量ゼロ**。



プラスチックのリデュース・リサイクルを推進

容器包材の見直し：一部サラダの上ぶたをトップシールに変更、プラスチック量を約25%削減。

ペットボトル回収：グループ店舗に2,500台以上※のペットボトル回収機を設置。※2023年1月18日時点

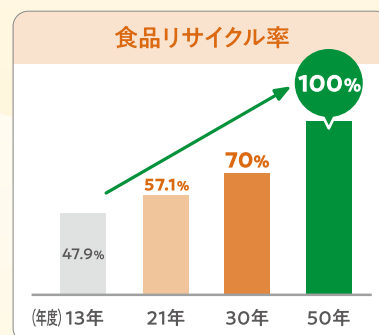
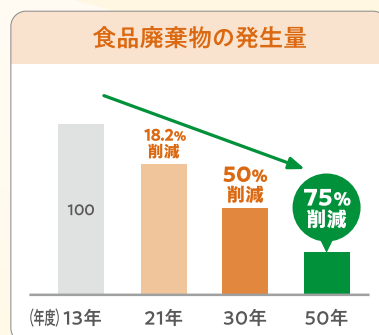
再生PET素材の活用：オリジナル商品のペットボトルや肌着の素材として活用。



取り組みテーマ ③

食品ロス・食品リサイクル対策

食品廃棄物の発生原単位（売上百万円あたりの発生量）75%削減（2013年度比）。**食品廃棄物のリサイクル率100%**。



発生抑制を第一優先に推進

てまえどり：すぐに食べる場合には手前にある販売期限の近い商品を選ぶ呼びかけを推進。

mottECO (モッテコ)：環境省が推奨する食べ残しの持ち帰りアクションをデニーズ店舗で実施。

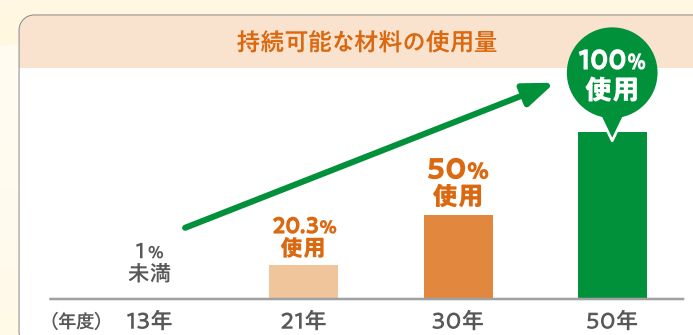
新技術の導入：販売期限を延長した長鮮度商品の開発。適正な在庫管理を目指すAI発注の導入。



取り組みテーマ ④

持続可能な調達

オリジナル商品（セブンプレミアムを含む）で使用する食品原材料は、**持続可能性が担保された材料を100%使用**。



環境や人権に配慮した持続可能な原材料調達

水産物認証：「MSC・ASCのCoC認証」を取得、グループ3社453店舗※にて店内加工した認証水産物を販売。※2023年1月末時点

農産物認証：安全性向上や環境保全のための「GAP認証」を取得した農産物・畜産物の取り扱いを拡大。

コーヒー豆認証：環境や人権に配慮された「レインフォレスト・アライアンス認証」のコーヒー飲料を販売。

